

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第855号 平成26年12月22日

初音ミク

11月19日、全国一斉に「マサP」氏の作詞・作曲になるCDアルバムが発売されています。

また、このCDを発売しているのは初音ミクの生みの親であるクリプトン・フューチャー・メディアで、同社はもともと、インターネットの音楽配信サービス等で作曲家の楽曲を発信していましたが、今年の夏、複数の作家の曲を集めてCDを全国発売したところ大変好評だったため、今度は、彩木雅夫氏単独のCDを製作し、販売する事になったものです（11月14日付北海道新聞から）。



さて、初音ミクのために作詞作曲した彩木雅夫氏といえば、御年81歳になるプロの作曲家で、「花と蝶」や「なみだの操」、「長崎は今日も雨だった」等の名曲を多数世に送り出して来た大作曲家です。

彩木氏の凄いところは、人気が出ると東京に活動拠点を移す人が多い中、札幌から一度として離れることなく作曲活動を続けて来た事で、現在も札幌を拠点に活動を続けています。

私が彩木氏に初めてお会いしたのは、今から9年前、私が教育長をしていた時で、以来今日まで、彩木氏にはご厚誼をいただいて来ました。彩木氏からは、今から1年程前に、「初音ミク」に歌わせていて、それが相当の評判になっており、ニコニコ動画で聞く事が出来るというお話をお聞きしたのですが、その時は正直、ピンと来ていませんでした。ただ、彩木雅夫という名前を伏せ、「マサP」という名前でニコニコ動画に投稿した曲であったにもかかわらず、それが大ヒットしたということですから、流石にプロは違うなと感じ入ったものです。

彩木氏からは、「11月19日に初音ミクのCDを出すから」と聞かされていたので、発売されるや直ちに手に入れ、毎日聞いています。

一方のボーカロイドというのは、ボーカルとアンドロイドとを合わせた造語で、人間の声をもとにした歌声を合成する事が出来るソフトの名称、またはその技術を指しています（「超訳『カタカナ語』辞典」から）。このソフトを使えば、音階と歌詞を入力するだけでボーカロイドが歌ってくれるというものです。

ボーカロイドで有名なのが、札幌のIT企業であるクリプトン・フューチャー・

メディアが開発した初音ミクで、国内外で高い関心を集め、単独コンサートまで開催されるという人気ぶりです。

因みに、初音ミクのプロフィールでは、年齢16歳、身長158cm、体重42kgと紹介されています。

今回発売されたCDには、動画再生回数が10万回を超え殿堂入りして大きな話題となった「花はかざれない」等11曲がリリースされていますが、どの曲も昭和の空気感を漂わせており、それがまた若者達には新鮮に感じられたのかも知れません。

私が興味深く感じている事は、81歳の作曲家とボーカロイドとのコラボレーションにあります。

功成り名を遂げた大作曲家が、ボーカロイドという若者達の土俵に、過去の栄光、更には名をも伏せ素手で挑戦する、というのは凄い事です。もしかしたら、ニコニコ動画に投稿した楽曲が、若者達から全く相手にされないというリスクもあったはずですが、初音ミクとコラボする中で、その懸念を払拭しただけではなく、見事に若者達の心を捉える事に成功しました。

私も、初音ミクといえば、若者の世界の話と思っていたのですが、彩木氏のお陰で、急に身近な存在になりました。

年を重ねても、常に世の中の動きに関心を持ち、新しい世界へ挑戦し続ける、そうした意欲を失わないというのは本当に素晴らしい事であり、私も少しは彩木氏の爪の垢でも煎じて飲まなければならないと感じているところです。

(塾頭：吉田 洋一)